

臨床研究

「鶴見大学歯学部附属病院口腔機能診断科アンチエイジング外来における 口腔と全身の老化度検査の実態調査」について

鶴見大学歯学部附属病院口腔機能診断科アンチエイジング外来では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願い致します。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究は、口腔と全身の老化度の関連性を比較検討し評価することを目的としています。

② 研究対象者

2005年7月1日から2017年9月30日までに、鶴見大学歯学部附属病院口腔機能診断科アンチエイジング外来を受診し、口腔および全身の老化度検査を行った方を対象とします。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

2017年9月30日に終了したアンチエイジング外来において開設以来行われた検査のデータを解析し、抗加齢医学に基づいた食事・運動・生活習慣の提案による口腔と全身の老化度のデータの変動を評価します。

通常の診療で収集された問診結果、検査結果を含む診療情報のみを利用し、本研究のために新たに検査が追加されることはありません。また、診療情報を収集する時点で個人を識別できる情報（氏名、住所、電話番号等）は切り離され（匿名化）、個人を識別できる情報と収集された診療情報の対応表は外部に漏れることのないよう厳重に管理されます。

⑤ 試料・情報の項目

通常の診療で収集された記録から入手可能な以下の情報を利用します。血液や唾液等の検体は使用しません。

【生年月、年齢、性別】

【口腔の老化度検査項目】

歯年齢…現在歯数

歯周年齢…CPI (Community Periodontal Index : 歯周ポケットの深さ)

飲み込み年齢…反復唾液嚥下テスト (RSST:repetitive saliva swallowing test)

咬合年齢…左右臼歯部咬合力検査

唾液年齢…安静時・刺激時唾液分泌量・サクソン検査・*Candida* 菌検査

【全身の老化度検査項目】

身長、体重、BMI、握力、ウエスト/ヒップ値、Wisconsin card Sorting test、体組成測定、PWV (Pulse Wave Velocity)、骨密度 (超音波計)、問診票 (全身抗加齢 QOL 共通問診票・口腔)

【血液検査項目】

HbA1c、グルコース、LDL-コレステロール、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (γ -GT)、尿素窒素 (BUN)、クレアチニン (血清)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール、デオキシピリジノリン (DPD) (尿)、コルチゾール、ソマトメジン C、デヒドロエピアンドロステイン硫酸抱合体 (DHEA-S)、テストラジオール (E2)、フリーテストステロン、インスリン、骨型フォスファターゼ (BAP)、アディポネクチン、レプチン、総ホモシステイン、高感度 CRP、尿中 8-OHdG、尿中イソプラスタン、LPO (過酸化脂質)、CoQ10 酸化率、鉄、銅、STAS (総抗酸化力)、ビタミン C、葉酸、ビタミン B12、ルテイン + ゼアキサンチン、 β クリプトキサンチン、リコペン、 α -カロテン、 β -カロテン、ビタミン A、ビタミン E、ユビキノール

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究では、鶴見大学で収集された診療情報が他の機関へ提供されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

鶴見大学歯学部病理学講座 教授

鶴見大学歯学部附属病院口腔機能診断科アンチエイジング外来

齋藤 一郎 <研究代表者>

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

検査を行った方やご家族 (ご遺族) が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は下記の問い合わせ先へご連絡ください。その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

担当者：鶴見大学歯学部病理学講座 教授 齋藤 一郎

(鶴見大学歯学部附属病院口腔機能診断科アンチエイジング外来)

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

電話：045-580-8360 (平日 9~17 時)